NIE実践報告

1．タイトル：**新聞を効果的に生かす授業の工夫（新聞づくり学習会より）**

2．学校名

熊本県熊本市立竜南中学校

3．実践者名（代表者名）

岡部斉

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　121名

6．単元（本時の学習課題）名

新聞づくり学習会

7．目標(狙い)

新聞づくりの形式、まとめ方のよさを学び、各教科、総合的な学習の時間、学校行事等のまとめ方として活用する。

8．評価の視点

新聞の基本的な形式をもとに自分なりのまとめ方・工夫ができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

新聞づくり学習会［総合的な学習の時間：2時間］職業調べ・まとめ［6時間］※進路学習として

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

◎「新聞づくり学習会」（2時間）講師：熊本日日新聞　越地　真一郎　様
（熊本県ＮＩＥ推進協議会事務局長、熊日ＮＩＥ推進室長）
○読み手の立場で新聞社の方がどのようなことを工夫し、つくられているのか？
○新聞形式の基本を学び、自分のまとめ方に生かしていく。
◎学習会・講演をもとに職業調べを新聞形式でまとめる。（6時間）

（留意点）
・職業調べでまとめた新聞記事を校内に掲示し、お互いのよさを学ぶ。
・新聞づくりで学んだよさ・改善点を次回の作品作りに生かす。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞はいろいろな工夫をしてあることを知りました。見やすいように、心を引きつけるように見出しを迫力あるものにするなど、新聞を見る人のために心配りをしていることに驚きました。

12．成果と課題

・今後、各教科、総合的な学習の時間、学校行事（修学旅行、ナイストライなど）でのまとめ方として、簡潔で、詳しい、わかりやすいまとめ方として大いに活用できる。
・生徒一人一人が新聞形式のまとめ方のよさとその意義をつかむことができた。